

研究業績一覧 (2014年)

秋山 憲治 (アキヤマ ケンジ)

1 論文

- 「TPP 交渉とアジアの対応」神奈川大学経済学会『商経論叢』第49巻第2・3号合併号、2014年3月
- 「日本の経常収支の赤字化と今後の対応」(報告論文) アジア研究センター・成均館大学共催セミナー『北東アジアの国際経済関係―日韓関係を中心として―』2014年10月25日

2 学会関係

- 日本貿易学会第53回全国大会 (和光大学) (分科会テーマ: TPP・WTO・FTA-1) 座長、2014年5月
- アジア市場経済学会第17回全国大会 (岡山理科大学) (第2分科会: 村松幸廣報告) コメントータ、2014年7月

3 その他

- 「わが国の経常収支と今後の行方」『神奈川新聞 (経済面「リサーチ」)』2014年3月1日
- 「TPP (環太平洋パートナーシップ協定) の進展とアジアへの影響」(報告要旨)『産業経済研究』(日本産業経済学会) (第14号) 2014年3月20日
- 「研究年報『神奈川大学アジア・レビュー』創刊にあたり」(巻頭言)『神奈川大学アジア・レビュー』(Vol.01) 2014年3月31日
- 「中国・大連の企業視察報告」(報告) アジア研究センター研究会2014年4月23日
- 「アジアの水不足と水ビジネス事情」(報告) アジア研究センター研究会2014年7月16日
- 「中国・大連の日系企業を訪ねて」(研究調査報告) アジア研究センターニュース・レター『CAS News Letter』2014年7月
- 「日本の対外経済関係の変化と日中経済関係」(講演) アジア研究センター海外講演会 (中国: 大連) 2014年9月13日
- 「日本の経常収支の赤字化と今後の対応」(報告) アジア研究センター・成均館大学共催セミナー『北東アジアの国際経済関係―日韓関係を中心として―』2014年10月25日

阿久津 一恵（アクツ カズエ）

1 論文

「わかりやすい英文の書き方をどう指導するか」『商経論叢』第49巻第2・3合併号、2014年3月、43-61ページ

飯塚 信夫（イイツカ ノブオ）

1 書籍

『東京湾岸の地震防災対策—臨海コンビナートは大丈夫か』（濱田政則氏、樋口俊一氏、中村孝明氏、佐藤孝治氏との共著）、早稲田大学出版部、2014年9月

2 論文

「GDP速報、情報公開急げ」日本経済新聞「経済教室」、2014年12月26日

「経済予測とマクロ経済モデル」『NEEDS 日本経済モデル40周年冊子』第2章、2014年2月、日本経済新聞デジタルメディア

「政府の経済見通しは、相変わらず「使えない」のか？」『国民経済雑誌』pp.1-12、2014年1月号、神戸大学経済経営学会

3 学会発表

「物価見通しは、なぜ外れ続けたのか」2014年度統計関連学会連合大会（東京大学）、2014年9月15日

“Exploring reasons for inflation forecast errors Evidence from Japan.” International Symposium on Forecasting 2014 in Rotterdam、2014年7月2日

4 講演等

「統計データから考える大規模災害の経済的影響」神奈川大学連続公演会「大震災の教訓に学び、減災の重要性を考える」2014年11月8日

「2014年度後半から15年度の日本経済の展望」第9回山梨県経済統計セミナー、2014年10月31日

「経済・金融統計の見方2」平成26年度統計研修課程・本科(116期)、総務省統計研修所、2014年10月17日

「各種経済指標の見方・使い方」2014年度経済分析基礎研修、経済産業省、2014年10月3日

5 その他（エッセイなど）

「データ検証 アベノミクスは賃金に反映されたか」『賃金事情』2014年8月5・20日号、産労総合研究所

産労総合研究所『賃金事情』における以下の連載

「人事に役立つ経済データの読み方」

- ・「経済対策の“消えた” 3 兆円—GDP 確報を読む」(2014年 1 月 5 日・20日号)
- ・「企業物価を観察する (上) —最終財のデフレ圧力なお」(2014年 2 月20日号)
- ・「企業物価を観察する (下) —円安進行と輸出入物価」(2014年 3 月20日号)
- ・「企業の成長期待から読む、設備投資の行方」(2014年 4 月20日号)
- ・「日本の経常収支、赤字定着は近いのか？」(2014年 5 月20日号)
- ・「2014年 1 ～ 3 月期の高成長は実勢か？」(2014年 6 月20日号)
- ・「公的年金の財政見通しをどう読むか」(2014年 7 月20日号)
- ・「日本の住宅事情の現状と将来をどう読むか」(2014年 9 月20日号)
- ・「企業向けサービス価格に見る景気の現状」(2014年10月20日号)
- ・「景気は再び後退局面入りか？」(2014年11月20日号)
- ・「消費マインドの行方は？」(2014年12月20日号)

出雲 雅志 (イズモ マサシ)

1 招待講演

「戦前日本のリカードウ研究」成城大学経済研究所講演会、成城大学、2014年10月11日

2 著書

Faccarello, Gilbert and Masashi Izumo (eds.) *The Reception of David Ricardo in Continental Europe and Japan*, Routledge, vi+249, 2014.

大滝 英生 (オオタキ エイセイ)

1 学術論文

1.1 査読有

“Asymmetric liquidity shocks and optimal monetary policy,” *Economics Bulletin* 34, (May, 2014), 1068–1080.

“Tractable graphical device for analyzing stationary stochastic OLG economies,” *Journal of Macroeconomics* 40 (June, 2014), 16–26.

1.2 査読無

“Optimality under demographic shocks,” *Studies in Economics and Trade (Keizai Boeki Kenkyu)* 40 (March, 2014), 40–59.

2 研究報告

“Optimality in a stochastic OLG model with ambiguity,” (with H. Ozaki) 日本経済学会2014年度春季大会 (於：同志社大学)、2014年 6 月15日

“Nominal idiosyncratic shocks and optimal monetary policy,” 日本経済学会2014年度秋季大会 (於：西南大学)、2014年10月12日

3 研究助成

「不確実下での最適な世代間資源配分についての研究」公益財団法人 野村財団 2013年度研究助成（平成24～26年）〔前年度より継続〕

岡村 勝義（オカムラ カツヨシ）

1 論文

「大学法人のディスクロージャーの拡充とアカウンタビリティ」『経済系』（関東学院大学）第260集（故福田哲也教授追悼号）、2014年7月、45～59ページ

2 学会報告

「一般社団・財団法人の公益性判断基準」（統一論題：非営利法人に係る公益性の判断基準）第18回非営利法人研究学会全国大会（横浜国立大学）、2014年9月10日

3 書評

「戸田龍介編著『農業発展に向けた簿記の役割—農業者のモデル別分析と提言—』」『神奈川大学評論』第79号、2014年11月、151ページ

奥田 麻衣（オクダ マイ）

1 論文

「社会保障教育における憲法制定過程学習の意義—中学生を対象とした人権教育の一環として—」『人間福祉研究』第12号、pp. 15–24、2014年3月（荻野太司氏との共著）

「児童生徒—教師比の続減を目的とした追加教員配置の有無による小学校算数学力調査正答率の学校平均の比較—全国学力・学習状況調査データを用いて—」『国立教育政策研究所紀要』第143集、pp. 197–207、2014年3月（山本光陽氏との共著）

2 学会報告

「修学旅行班別自主研修成果発表におけるARポスターの評価」日本教育工学会第30回全国大会（岐阜大学）、2014年9月19～21日（瀬戸崎典夫氏 森田裕介氏との共同報告）

“Evaluation of Using a Tablet Device for a School Trip”, The 22nd International Conference on Computers in Education (Nara, Japan), December 2014 (With Norio SETOZAKI & Yusuke MORITA)

兼子 良夫（カネコ ヨシオ）

1 研究論文

「地方道路財源と地方税制改革」『日本都市学会年報』vol. 47、pp. 331–335、2014年

「自動車取得税の説得的改革と地方道路財源」『説得交渉学研究』vol. 6、pp. 43－55、2014年

2 学会報告

「均等割と負担分任の原則」日本都市学会第61回大会、同志社大学、2014年10月26日

児玉 謙太郎（コダマ ケンタロウ）

1 学会発表

「“あっち向いてホイ”における同期の達成」2014年度日本認知科学会第31回大会（名古屋大学）、2014年9月14日（牧野遼作氏、末崎裕康氏、園田耕平氏との共著）

「ヤドカリはどのようにして身体の大きさを知覚しているのか？」日本動物行動学会第33回大会（長崎大学）、2014年11月1日（園田耕平氏、右田正夫氏、森山徹氏、郡司ペギオ幸夫氏との共著）

「ヤドカリにおける慣性モーメントの知覚」第15回(社)計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会（東京ビッグサイト）、2014年12月15日（園田耕平氏、右田正夫氏、森山徹氏、郡司ペギオ幸夫氏との共著）

2 研究助成

「適応的な身体システムの定量評価：知覚－行為の協調にもとづく健康な身体づくりに向けて」公益財団法人日本科学協会 平成26年度笹川科学研究助成（安田和弘氏との共同研究）

3 その他

「『知覚と運動の再構築』に基づくリハビリテーション」「知覚と運動の再構築」とは何か” 首都大学東京オープンユニバーシティ 講座（首都大学東京飯田橋キャンパス）、2014年10月25日

五嶋 陽子（ゴトウ ヨウコ）

1 査読論文

「なぜ支出税は失敗したか」日本財政学会（編）『「社会保障・税一体改革」後の日本財政』財政研究第10巻、2014年10月

2 論文

K.U. Economic Society Discussion Paper Series #2013-04 「ルーズベルト政権下の再編」2014年3月

小林 康宏 (コバヤシ ヤスヒロ)

1 研究論文

「経営国際化の財務論理」『立教経済学研究』第67巻第3号 (立教大学経済学研究会) 2014年1月20日

「国際経営財務論の発展と環境」『商経論叢』第49巻第2・3合併号 (神奈川大学経済学会) 2014年3月

2 学会活動

司 会

(1) 2014年10月4日 日本経営財務研究学会第38回全国大会 (明治大学)
自由論題① 9:30~10:15

(2) 2014年10月5日 同上、自由論題⑧ 10:20~11:05

(3) 2014年11月29日 日本財務管理学会第39回秋季全国大会 (立命館大学)
第2会場 10:00~12:00

酒井 良清 (サカイ ヨシキヨ)

1 論文

「レジームの転換はいつ起きたのか」神奈川新聞、2014年6月23日

佐藤 孝治 (サトウ コウジ)

1 著書・論文

『東京湾岸の地震防災対策：臨海コンビナートは大丈夫か』(共著) 早稲田大学出版部、2014年9月

「巻頭言・想定外は許されない：臨海部コンビナートの地震防災対策」『自治研月報神奈川』第145号、2014年2月

2 講演他

「大規模災害が社会経済活動に及ぼす影響」早稲田大学理工学研究所『臨海部の地震・津波防災性向上に関する懇談会』(東京都新宿区、早稲田大学理工学術院)、2014年1月27日

「事業継続計画とテレワーク：大規模災害と危機管理を考える」総務省・テレワーク推進フォーラムセミナー (東京都千代田区、主婦会館)、2014年2月17日

「Three Years after The Great East Japan Earthquake: Implications for the Future」カリフォルニア大学交通問題研究所 (デービス校)、2014年2月26日

「3.11から3年 被災地復旧の現状と課題」緑区役所市民活動支援センター『防災・減災講座』(横浜市緑区役所)、2014年3月8日

- 「被災地復旧の現状と課題：巨大地震に備えて東日本大震災から学ぶこと」防災塾・だるま講演会（神奈川大学横浜キャンパス）、2014年3月11日
- 「被災地復旧の現状と課題：南海トラフ巨大地震に備えて東日本大震災から学ぶこと」大分県佐伯市米水津小浦地区講演会（大分県佐伯市、小浦地区公民館）、2014年3月22日
- 「3.11から3年…被災地復旧の現状と課題：首都直下地震に備えて」神奈川大学大規模災害対策研究プロジェクト成果報告会（神奈川大学横浜キャンパス）、2014年5月22日
- 「被災地復旧の現状と課題：大規模災害に備えて学ぶこと」学校法人清風南海学園・東京金剛会年次総会講演会（東京都千代田区、如水会館）、2014年6月7日
- 「格差社会の現実と若者たちの将来：フリーターの何が問題か」神奈川県立横浜清陵総合高校出張授業（横浜市南区）、2014年9月25日
- 「首都直下地震の被害想定と社会経済的な影響：東京湾臨海コンビナート災害を中心に」連合神奈川講演会（横浜市中区、ワークピア）、2014年10月16日
- 「首都直下地震の被害想定と社会経済的な影響：東京湾臨海コンビナート災害を中心に」神奈川大学連続講演会『大震災の教訓に学び、減災の重要性を考える！！』第6回（神奈川大学横浜キャンパス）、2014年11月22日
- 「大規模災害と女性のための防災」新宮市商工会議所女性部講演会（和歌山県新宮市）、2014年12月4日
- 「格差社会の現実と若者たちの将来：フリーターの何が問題か」横浜市立東高校出張授業（横浜市鶴見区）、2014年12月11日

3 その他

- 「三陸のいま 校舎移転へ盛土：津波への対策さらに強化」『大分合同新聞』、2014年2月28日夕刊
- 「食料品備蓄や給油など：身近な津波防災を」『大分合同新聞』、2014年3月23日朝刊

佐藤 睦朗（サトウ ムツオ）

1 論文

- 「18-19世紀のフェーダ教区における農業景観」『経済貿易研究』第40号、2014年3月、79～96頁

2 学会報告・コメント

- 「スウェーデンにおけるエンクロージャー—近年の研究動向とフェーダ教区の事例考察—」農村史研究会（学士会館）、2014年4月19日
- 「スウェーデン農村史における「親族ネットワーク」と「家計」に関する研究動向」2014年度比較家族史学会秋季研究大会（愛媛大学）、2014年11月15日

玉井 義浩（タマイ ヨシヒロ）

1 論文

「リスクプレミアムと不確実性プレミアムのトレード＝オフ」『商経論叢』（神奈川大学）第50巻第1号、51－81頁、2014年10月

2 学会報告

“Trade-off between Risk and Uncertainty Premiums” 韓国経済通商学会（KEBA）2014年度秋季国際大会（11月28日、29日：プサン大学）

3 書評

John Maynard Keynes “Essays in Persuasion” 『社会科学研究』（東京大学）66巻1号、163－167頁、2014年12月

戸田 龍介（トダ リュウスケ）

1 著書

『農業発展に向けた簿記の役割—農業者のモデル別分析と提言—』中央経済社、2014年2月（編著、2014年度日本簿記学会・学会賞受賞）

2 論文

「日本における農業簿記の研究（3）—全国農業経営コンサルタント協会専務理事・森剛一税理士他へのヒアリング調査—」『商経論叢』、第50巻第1号、2014年10月、101－125頁（単著）

「日本における農業簿記の研究（2）—全国農業経営コンサルタント協会理事長・西田尚史税理士へのヒアリング調査—」『商経論叢』、第50巻第1号、2014年10月、83－99頁（単著）

「日本の農業簿記の特徴と問題点—農業簿記検定教科書3級を題材にして—」『税経通信』、2014年6月号、2014年6月、17－26頁（単著）

「日本における農業簿記の研究（1）—農業簿記検定教科書3級を題材として—」『商経論叢』、第49巻第4号、2014年5月、89－109頁（単著）

「農業簿記・農業会計について—日本の農業の発展に向けて（「解題深書」）」『企業会計』、第66巻第2号、2014年2月、124－128頁（単著）

3 学会報告・講演

学会報告：「日本における農業簿記の研究—農業簿記検定から見えてくるもの—」（日本簿記学会第30回全国大会、神戸大学六甲台本館2F210教室、8月31日）

講演論題：「日本における農業簿記の研究—農業簿記検定の紹介と私的研究史2010～2014—」（静岡県立大学、経営情報学部棟4111講義教室、11月20日）

講演論題：「今後の農業簿記の発展について」（全国農業経営コンサルタント協会主催、平成26年度秋季セミナー講演、AP 品川10階 A・B ルーム、11月4日）

4 その他（学会司会、新聞掲載、研究会報告、外部資金獲得状況等）

学会司会（日本会計研究学会第73回全国大会、横浜国立大学、経済学部講義棟1号館202教室、第5会場・櫛部幸子報告に対して、9月5日）

新聞掲載論題：「県内版フードバレー構想の可能性」（神奈川新聞、2014年7月21日付朝刊4面掲載）

座談会司会：「座談会 戦後会計学の軌跡と反省」（田中弘教授定年退職記念座談会）『経済貿易研究』、No. 40、2014年3月、1-30頁（共著）

研究会発表論題：「農業簿記検定に見る農業簿記の問題点」（日本簿記学会簿記実務研究部会研究会「業種別簿記実務の研究」、福岡大学2号館23E教室、2月13日）

研究会発表論題：「日本の農業簿記の特徴と問題点—農業簿記検定3級を題材にして—」（九州会計研究会、九州大学経済学部2F中会議室、5月10日）

研究会発表論題：「日本における農業簿記の研究—農業簿記検定3級を題材として—」（日本簿記学会簿記実務研究部会研究会「業種別簿記実務の研究」、沖縄国際大学、5月17日）

研究会発表論題：「日本における農業簿記の研究—置かれてきた社会構造の考察を中心に—」（九州会計研究会、九州大学経済学部2F中会議室、10月4日）

研究会発表論題：「日本における農業簿記の史的展開—オーラル・ヒストリーと西田文庫を題材として—」（九州会計研究会、九州大学経済学部2F中会議室、12月13日）

最終報告書分担執筆：「§14 農業簿記検定3級に見る日本の農業簿記の問題点」『日本簿記学会・簿記実務研究部会〈最終報告〉業種別簿記実務の研究』、2014年8月、91-97頁（共著）

外部資金獲得（平成26年度・科学研究費補助金・基盤研究（C）、課題番号26380626、課題名「日本の農林漁業の発展に向けた簿記会計の役割—オランダ・ドイツの事例を参考に—」）

外木 好美（トノギ コノミ）

1 論文

Tonogi, Konomi, Jun-ichi Nakamura, and Kazumi Asako (2014) “Heterogeneity of capital stocks in Japan : classification by factor analysis,” Journal of Knowledge Management, Economics and Information Technology, Vol. 4, Issue 2, April 2014.

浅子和美・外木好美・中村純一（2014）「設備投資研究のフロンティア」『日本経済 変革期の金融と企業行動（堀内昭義、花崎正晴、中村純一編、東京大学出版会）』第4章、pp. 153～208

2 学会発表

Intangible Investment by Industry and Productivity Improvement in Japan (with Tsutomu Miyagawa and Shoichi Hisa), the Third World KLEMS Conference Tokyo, Japan, May 19-20,

2014.

比佐 章一（ヒサ ショウイチ）

1 論文

「新規公開市場のアンダープライシングの決定要因について—隠れマルコフモデルによるアプローチ—」帝京大学経済学会『帝京大学経済研究』第47巻第2号（通巻第72号）（共著：比佐優子・比佐章一）、2014年3月

「最尤法による隠れマルコフモデルの推定—t分布のケース—」横浜市立大学学術研究会『横浜市立大学論叢』第65巻第1・2・3合併号（通巻第72号）（共著：比佐優子・比佐章一）、2014年3月

松村 敏（マツムラ サトシ）

1 論文

「戦後復興期～高度成長期における北陸化合繊維物業の展開—石川県能美郡・松崎織物の事例：1948－71年—」『商経論叢』第50巻第1号、2014年10月、13～50頁

三島 斉紀（ミシマ ムネノリ）

1 論文

「A. H. マズローの *Motivation and Personality* に関する一考察」（単著）『商経論叢』神奈川大学経済学会、第50巻第1号、2014年10月、1－12頁

2 学会・研究会報告

Munenori MISHIMA et al, “On the problems about freedom of occupational choice in Japan”, *The 6th Korea and Japan Business Research Seminar*, Korea, Myongji University, March, 2014.

Munenori MISHIMA, “What does Self-Actualization mean in workplace?”, *Kitakyusyu International Conference on Business 2014*, Japan, Kyusyu International University（九州国際大学）, July, 2014.

3 その他

「マズロー理論の基本的特質に関する覚書—マレー理論との比較において—」（河野昭三との共著）『九州心理学会 第74回大会発表論文集』、2014年2月、23頁

「「自己実現」と「存在価値」の関係について」（単著）神奈川新聞、2014年4月21日、4頁

森泉 陽子（モリイズミ ヨウコ）

1 研究論文

Overview of Housing and Mortgage Markets in Japan, Kanagawa University Economic Society, Discussion Paper No. 2013-6.（査読無）

2 セミナー（ワークショップ）開催及び発表

Housing Economic Seminar

July 15, 2014 Kanagawa university

発表者 Richard Ronald (University of Birmingham and University of Amsterdam), Oana Druta (University of Amsterdam), Yoko Moriizumi (Kanagawa University)

3 研究助成

平成26年度科学研究費助成事業（学術研究基金助成金）基盤研究（C）受領

森田 圭亮（モリタ ケイスケ）

1 査読付き論文

Morita K., 2014, Advance tax payment and tax evasion : Expected utility analysis, The Singapore Economic Review 59(2).

ハッ橋 治郎（ヤツハシ ジロウ）

1 著書

『リビングスタイリスト資格試験3級公式テキスト』（共著）日本ライフスタイル協会、2014年8月

山口 拓美（ヤマグチ タクミ）

1 研究ノート

「批判語としての“ブラック企業”、“搾取” および“EXPLOITATION”」『経済貿易研究』
神奈川大学経済貿易研究所・研究所年報、No. 40、2014年3月

山本 崇雄（ヤマモト タカオ）

1 論文

「海外子会社の知識アクセスと新規事業・市場創造—試論的検討—」『商経論叢』第49巻第2・3合併号、2014年3月

2 学会報告

「海外子会社のイノベーションと海外人材の役割の変化—日系多国籍企業を中心として—」、国際ビジネス研究学会 第21回全国大会、北海学園大学、2014年11月3日

3 講演その他

「多国籍企業における知識と双面性（ambidexterity）のマネジメント—HRMの視点をふまえて—」、早稲田大学トランスナショナルHRM研究所 2013年度 第5回セミナー、2014年1月17日

「「OKY」問題と海外子会社のマネジメント」、世界経済評論 IMPACT、2014年3月17日

「桶（こが）の上で、醬（ひしお）の香りを感じながら——小豆島訪問雑感」、世界経済評論 IMPACT、2014年8月4日

山本 通（ヤマモト トオル）

1 論文

「ベンジャミン・フランクリンと産業的啓蒙：幸福のための改善」『商経論叢』第49巻第2・3合併号（神奈川大学経済学会）2014年3月、131～168頁

「近世イングランドの宗教と教会：素描」『商経論叢』第49巻第4号（神奈川大学経済学会）2014年5月、25～68頁

2 書評

「湯沢威『鉄道の誕生—イギリスから世界へ』」『経営史学』第49巻第3号、2014年12月、74～77頁

3 その他

「イギリスは美味しい」『一橋大学基督教青年会会報』第62巻、2014年12月、12～14頁

「私の本棚：渡辺照宏『日本の仏教』岩波新書（1958年刊）」『一橋大学基督教青年会会報』第62巻、2014年12月、59～61頁

山本 博史（ヤマモト ヒロシ）

1 研究報告

神大研究会「帝国とナショナリズムの言説空間」：第2回研究会『タイ、民主主義の「かたち」：非植民地国家の権力構造への一考察』場所：17-401号室（横浜キャンパス・人間科学部社会コース共同研究室）、2014年12月3日

アジアコンセンサス研究会『タイー市民社会への模索と民主主義の苦悩—共産主義運動との関連から』場所：明治大学お茶の水キャンパス・グローバルフロント403-N号室、2014年5月17日

「東南アジアから西アジアにおける民主化と経済発展」研究会『タイ王制と民主主義』場所：アジア研究センター（神奈川大学横浜キャンパス8号館3階）、2014年2月19日

アジア研究センター所員会議における報告『タイ糖業略史』場所：アジア研究センター（神奈川大学横浜キャンパス8号館3階）、2014年1月22日

横川 和穂（ヨコガワ カズホ）

1 論文

Public finance and local community in Russia after transition, *Journal of Northeast Asia Development* (Northeast Asia Development Institute, Incheon National University, Korea) Vol. 15, December 2013. (2014年1月発行)

「ロシア市場の明日を左右する地方財政」ユーラシア研究所レポート、2014年5月17日 (<http://yuken-jp.com/report/2014/05/17/russia-market/>)。同論文はMUFG BizBuddy（三菱東京UFJ銀行グループが海外の日系企業の駐在員向けに発信しているウェブサイト）2014年4月3日付にも掲載。

2 学会報告

「ロシアにおける社会的サービス供給の再編と地域社会」日本比較経営学会東日本部会、於：駒沢大学、2014年12月13日

3 研究会報告

「書評：堀林巧著『自由市場資本主義の再形成と動揺—現代比較社会経済分析』世界思想社、2014年」比較経済体制研究会、於：京都大学経済研究所、2014年4月26日

「ロシアにおける地方公共サービスと住民生活」比較経済体制研究会第33回年次大会、於：京都大学経済研究所、2014年8月30日